

知事記者会見

本県における 感染防止対策について

令和4年9月28日

はじめに

- 県民の皆様の感染防止対策やワクチン接種へのご協力により、県内の感染状況は改善傾向が続いており、深く感謝申し上げます。
- また、医療従事者の皆様には、大変厳しい状況の中で県民の命と健康を守るために、懸命のご努力をいただいておりますことに敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

県内の感染状況及び入院医療の状況等について

9月27日公表時点

※1 病床使用率は右記の数値に基づき算出 / 上段…緊急時の確保病床数 (下段)…現在の確保病床数

		9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
病床 使用率 ※1	県全体	47.0% (49.7%)	47.9% (50.8%)	45.0% (47.6%)	45.1% (47.7%)	45.0% (47.6%)	43.5% (46.1%)	41.7% (44.1%)	39.9% (42.2%)	40.1% (42.5%)	39.7% (42.0%)	34.2% (36.2%)	29.5% (31.2%)	27.3% (30.4%)	27.5% (30.6%)	25.4% (28.2%)	25.2% (28.1%)	23.3% (25.9%)	21.1% (23.5%)
	長崎市	57.8% (57.8%)	57.8% (57.8%)	51.0% (51.0%)	53.0% (53.0%)	54.2% (54.2%)	49.4% (49.4%)	47.8% (47.8%)	44.2% (44.2%)	44.6% (44.6%)	44.2% (44.2%)	32.9% (32.9%)	29.3% (29.3%)	26.0% (26.0%)	26.4% (26.4%)	27.9% (27.9%)	26.7% (26.7%)	24.0% (24.0%)	21.7% (21.7%)
	佐世保市	47.3% (47.3%)	47.9% (47.9%)	47.9% (47.9%)	48.5% (48.5%)	48.5% (48.5%)	47.9% (47.9%)	49.1% (49.1%)	44.9% (44.9%)	44.9% (44.9%)	44.3% (44.3%)	43.7% (43.7%)	34.7% (34.7%)	34.3% (34.3%)	32.5% (32.5%)	26.0% (26.0%)	27.8% (27.8%)	27.2% (27.2%)	26.6% (26.6%)
重症病床使用率		12.5%	7.5%	7.5%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	7.5%	7.5%
新規感染者数 (10万人/週)		1069人 (733.8人)	610人 (673.6人)	387人 (634.6人)	1121人 (609.5人)	760人 (555.5人)	675人 (481.9人)	618人 (399.4人)	591人 (363.0人)	509人 (355.3人)	302人 (348.8人)	453人 (297.9人)	1008人 (316.8人)	672人 (316.5人)	509人 (308.2人)	273人 (284.0人)	471人 (281.1人)	279人 (279.3人)	381人 (273.9人)

指標	レベル1 (注意報)	レベル2-I 警戒警報	レベル2-II 特別警戒警報	レベル3 危機事態警報	レベル4 緊急事態宣言
病床使用率	—	20%	35%	50%	100%
社会機能の制限状況	—			一般診療や福祉サービス等への深刻な影響	

入院患者数と病床使用率(医療圏別)

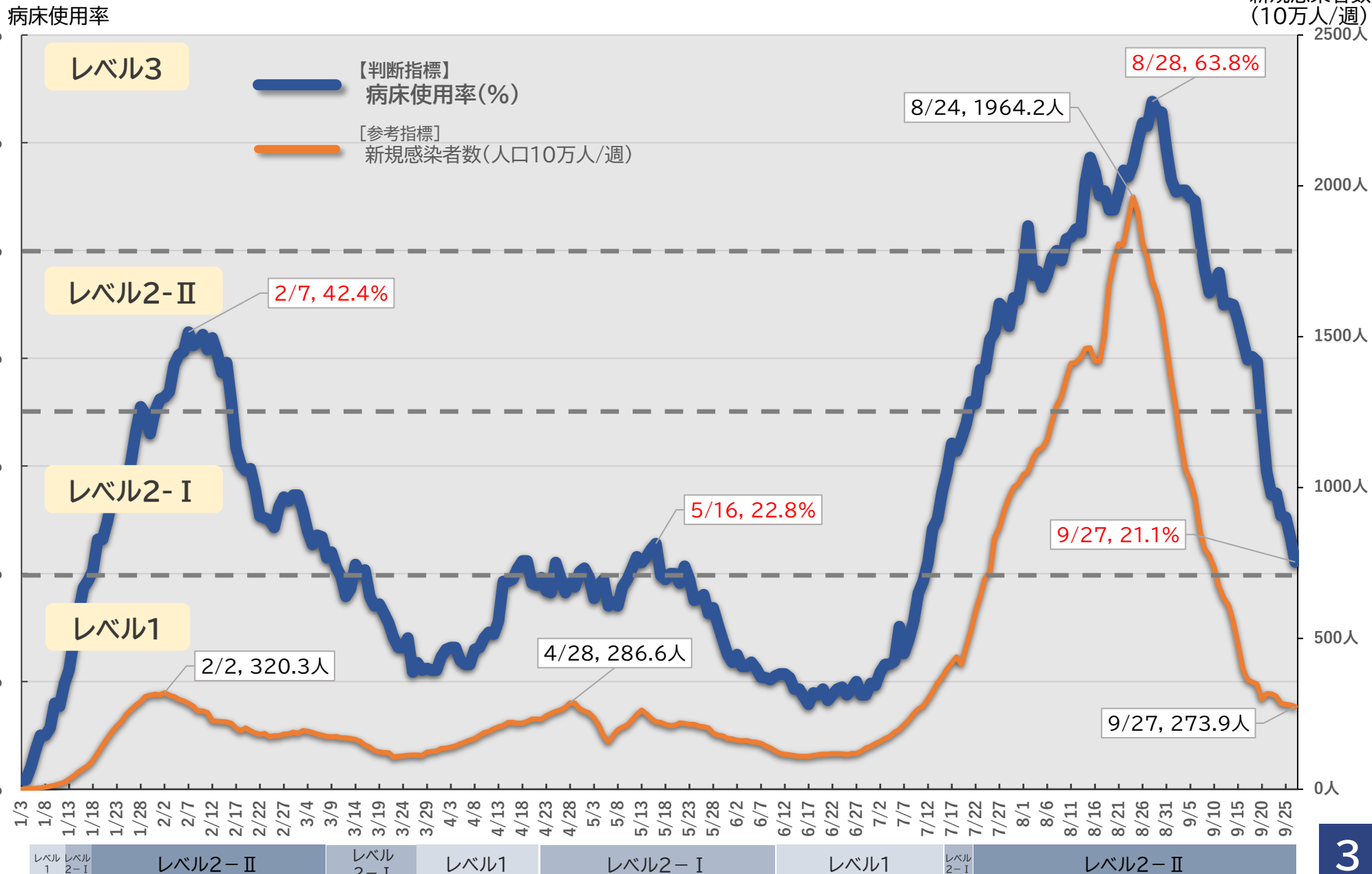
※2 上段 …緊急時の確保病床数 (下段)…現在の確保病床数

医療圏	長崎	佐世保県北	県央	県南	本土計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院患者数	56	45	14	35	150	0	1	0	1	152
病床数※2	258 (258)	169 (169)	112 (89)	74 (74)	613 (590)	30 (10)	19 (7)	26 (10)	33 (31)	721 (648)
病床 使用率※2	21.7% (21.7%)	26.6% (26.6%)	12.5% (15.7%)	47.3% (47.3%)	24.5% (25.4%)	0.0% (0.0%)	5.3% (14.3%)	0.0% (0.0%)	3.0% (3.2%)	21.1% (23.5%)
フェーズ	緊急2	緊急2	4	緊急2	—	2	2	2	4	—

- 入院患者:重症3名、中等症・軽症149名
- 施設療養者:331名
- 宿泊施設療養者:51名
- 死亡者数(累計):325名(80代以上が7割超)

県内感染者数(累計)
211,206名

新規感染者数・病床使用率の推移

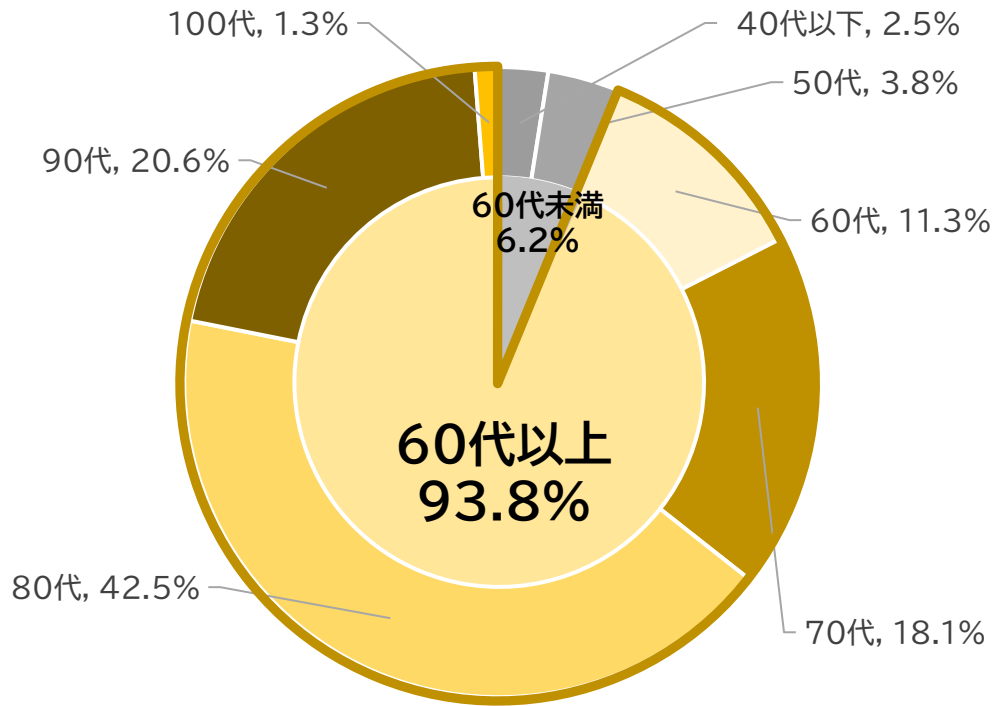


入院者・死亡者の年齢構成

入院者の年齢構成

(9月26日時点)

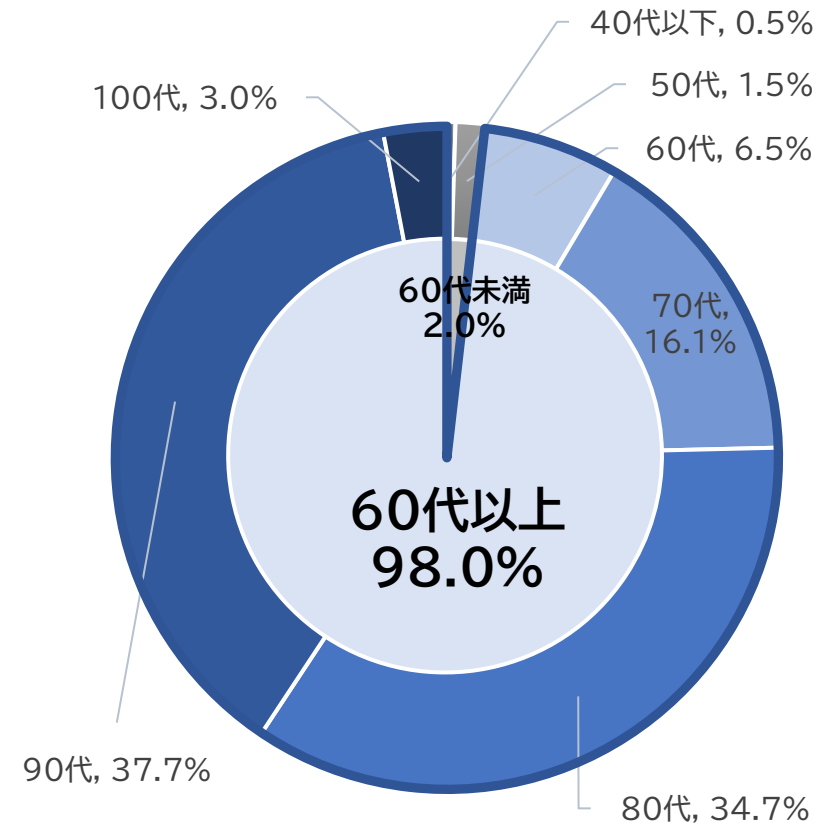
- 入院者の90%以上が60代以上の高齢者



死亡者の年齢構成

(7月1日～9月27日公表時点までの累計)

- 死亡者の98%が60代以上の高齢者



重症化リスクの高い高齢者等に重点を置いた対策が必要

感染段階レベル

- 新規感染者の減少傾向が続く中、判断指標である県全体の病床使用率は、8日連続で35%を下回っており、医療圏別に見ても県南医療圏を除くすべての医療圏で35%未満で推移
- オミクロン株に対応した4回目のワクチン接種も始まったことから、今後も基本的な感染防止対策を継続することで、感染状況は改善傾向で推移することが予想される

▶ 9月29日から県内の感染段階レベルを2-Iに引き下げ

	レベル1	レベル2-I	レベル2-II	レベル3	レベル4
警報等	(注意報)	警戒警報	特別警戒警報	危機事態警報	緊急事態宣言(独自)
<指標> 病床使用率	—	20%	35%	50%	100%

今後の方向性について

- 県としては、基本的な感染防止対策やワクチン接種を継続しつつ、重症化リスクの高い高齢者等を守るため、コロナ病床や診療・検査医療機関の確保など、医療提供体制の強化に取り組むとともに、高齢者施設等における対策を継続してまいります。
- 一方、感染が収まりつつある現状を踏まえ、当面、コロナ禍で大きな影響を受けた飲食・観光の立て直しに注力してまいります。

感染対策のポイント

オミクロン株対応ワクチンの接種促進

▶ オミクロン株対応ワクチン(※)の接種が始まります

※「従来株」と「オミクロン株(BA.1)」との2価ワクチン

▶ 接種できる時期になりましたら**早めの接種をお願いします**

接種対象	■ 初回接種(1・2回)を完了した12歳以上で、前回接種から5ヶ月経過した方	
接種順序	① 4回目接種対象で未接種の方	9月20日以降順次開始
	② 上記以外の方	10月中旬以降
※詳細はお住まいの市町にご確認ください		
効果	■ 従来型ワクチンを追加接種する場合と比較して抗体価(※)が ●ファイザー社製 … 1.56倍 ●モデルナ社製 … 1.76倍 ※オミクロン株(BA.1)に対する抗体価	
副反応	■ 従来型ワクチンとおおむね同様	

長崎県コロナワクチン接種センター

▶ 接種対象者拡大に伴い、接種希望者の急増が見込まれることから、県ワクチン接種センターの設置(11月目途)に向けて調整中

感染対策のポイント

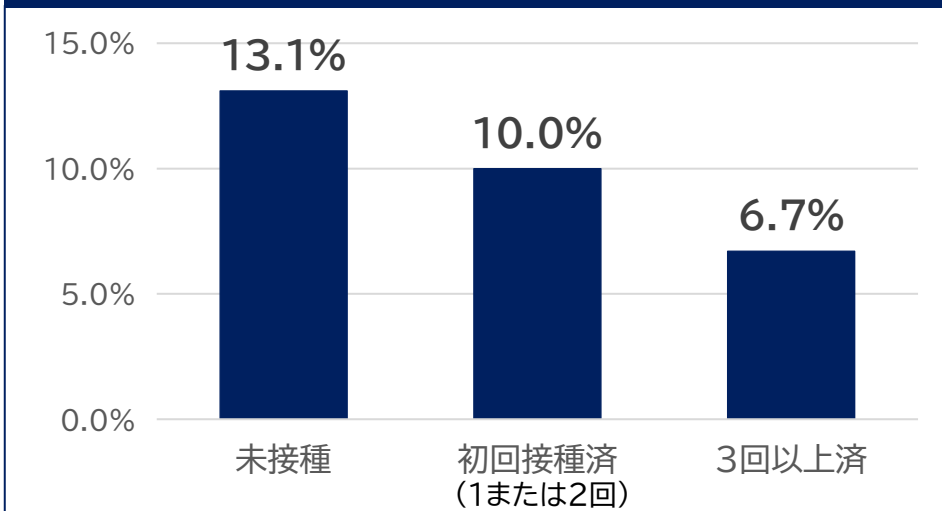
ワクチン接種の効果

- ▶ 本県におけるデータでは、発症予防や重症化予防にワクチン接種の効果があると考えられます

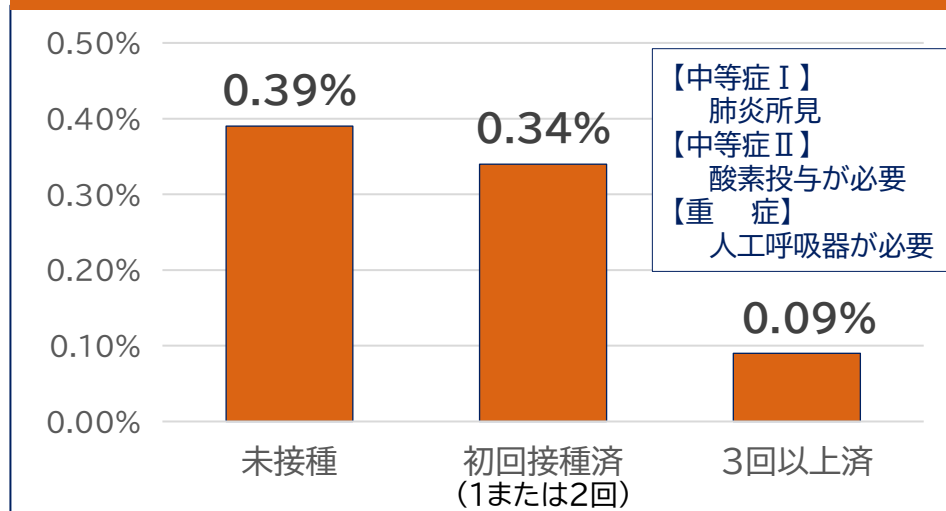
本県における接種回数別の感染等の状況

両データとも ①…7月以降の新規感染者、入院者数
①/②で算定 ②…7月3日時点のワクチン接種者数

新規感染者の割合(全世代)



中等症以上の入院者の割合(65歳以上)



- ▶ 『自らの健康を守るため』、『大切な人を守るため』、そして『本県の医療を守るため』早めの接種をお願いします

医療提供体制の強化等

《インフルエンザとの同時流行に備えた診療・検査体制の強化》

- ▶ 南半球では、コロナと季節性インフルエンザの同時流行が報告されており、日本においても今冬は同時流行が懸念される
- ▶ インフルエンザはコロナと発熱や倦怠感など症状が似ていることから、インフルエンザが流行した際、一般医療機関では発熱患者を診療しないことが想定され、コロナ診療・検査医療機関のひっ迫が懸念される

■ 診療・検査医療機関の拡充

令和4年6月30日時点

515施設



令和4年9月14日時点

590施設(+75施設)

うち、受診・相談センターが案内できる施設は約37%の219施設のみ

受診・相談センターで案内できる医療機関のさらなる拡充

- ◎ 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種が可能
⇒ 同時接種できる医療機関のリスト公表について各市町へ依頼中

飲食キャンペーンについて

第7波により、大きな影響を受けている飲食店について、地元客に加え、回復基調にある県内外からの観光客を取り込み、県内の需要喚起を図るため、利用拡大キャンペーンを実施予定



第2弾 認証店利用拡大キャンペーン



キャンペーン参加店舗(認証店)を利用された方を対象に、**1,000円分のクーポン配布**
飲食代金が2,000円以上となる場合に、1枚を使用できます



キャンペーン期間 **R4.11月~R5.1月**



飲食事業者の
皆様へ

本キャンペーンは**認証店舗を対象**としております
新規認証申請も随時受け付けていますので積極的な活用をお願いします

- ✓ 上記事業については、現在開会中の9月定例県議会へ予算案を提出しており、予算成立後、速やかに事業開始に向けた準備・調整を実施します

観光キャンペーンについて

国の全国旅行支援の実施決定を受け、本県においても10月11日から全国旅行支援を実施します。

なお、現在実施中の県民割支援(九州ブロック割)は10月10日まで期間を延長します。

ながさきで心呼吸の旅 (全国旅行支援)

これまで九州ブロックを対象としていた観光キャンペーンについて、内容を一部変更のうえ、対象を全国に拡大します

	九州 ブロック割
割引率	50%
割引上限	5,000円
クーポン券	2,000円

全国旅行支援
40%
交通付宿泊旅行 : 8,000円 宿泊のみ : 5,000円 日帰り旅行 : 5,000円
平日 : 3,000円 休日 : 1,000円

キャンペーン期間

10月11日~12月下旬



今後の検討課題について



新型コロナウイルス感染症のみならず、原油価格・物価高騰の長期化などによっても、県民生活や社会経済活動に様々な影響が生じています。これらの実情をしっかりと把握したうえで、政府の動きも注視しつつ、必要な追加対策を早急に検討してまいります。

1 県民の皆様への要請

- 会話時のマスク着用や三密回避、定期的な換気などの基本的な感染防止対策を徹底
- 会食の際は、認証店を利用し、マスク会食や密にならない工夫など、感染対策の徹底を
- 感染不安や発熱などの症状があるときは、外出・登校・登園を控え、自主検査や医療機関への相談・受診を
- 自らの健康や家族・仲間などの大切な人を守るため、ワクチン接種へのご協力を

2 事業者の皆様への要請

- イベント開催時の感染防止対策の徹底
- 基本的な感染防止対策の徹底
- 認証店における認証基準の再確認
非認証店における積極的な認証取得

3 県立学校での対策

- 部活動における密集・接触する運動や県内外問わず他校との交流については、各学校において地域の感染状況に応じて慎重に判断

4 児童福祉施設等での対策

- 基本的な感染防止対策(室内の換気、手洗い、消毒、検温、体調管理等)の徹底

5 介護・障害者福祉施設等での対策

- 福祉サービス等の維持・継続、感染の早期収束を図るための支援(他施設からの業務応援、DMAT、CovMATの派遣等)を実施
- クラスタ発生時の保健所による現場指導

6 家庭内での対策

- こまめな手洗い、定期的な換気
- 食べ物や飲み物、食器の共用は避ける
- 高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接する際は家庭内でもマスクを着用するなど、特に感染対策に注意を